

トランプへの死の脅迫？ アレックス・ソロスが銃痕と \$47 の写真を送りつける

<https://www.infowars.com/posts/trump-death-threat-alex-soros-tweets-image-of-bullet-hole-and-47/>

Adam Salazar

January 22, 2024



グローバリストの中心人物ジョージ・ソロスの息子である Alex Soros が、前大統領ドナルド・トランプの命を脅かしているとして、攻撃されている。これは彼が、弾丸の穴と驚愕みにした 47 ドルを示す写真を、社会メディア上に投稿したことによるものである。

日曜日夕刻の X 上に、ソロスは The Atlantic に投稿した記事で、犯罪とインフレーションを論じ、トランプを「通常性の候補者」として激しい口調で批判し、そこには弾丸による穴でひびの入った窓と、誰かが 47 ドル分の札を掴んでいる写真が添えられていた。

社会メディア上の多くの人々は、ソロスの投稿を、トランプの暗殺を呼びかける暗合メッセージと解釈した。トランプは、11 月に再選されて勝てば、「第 47 代大統領」になることになり、これは特に、ダボスでの「世界経済フォーラム」サミットの、前大統領を民主主義に対する危険要素としてこき下ろす最近のコメントから、狙いは明らかである。

「弾丸の穴と 47 ドルの紙幣を投稿することで、あなたはどんなメッセージを送るか!？」と、前トランプ・アドバイザーだったマイク・フリン将軍は言い、「しかもこの記事は完全に嘘っぱちに満ちている」と加えた。

作家のスコット・アダムズもまた、「#47 を撃て」のイメージは意図的で、「私の考えでは、我々の情報連携集団が次の大統領を殺すことを指令し、犯人にはフリーパスを与えているのだ」と言った。

「これはもし我々が、Covid や、1 月 6 日暴動詐欺や、Fine People ペテンや、国境危機やウクライナ、といったものを経験していなかったら、全く馬鹿げた話に聞こえるだろう」と、彼は加えた。

他の人々も同じように、ソロスの投稿を、前大統領への直接の脅迫と考え、多くの人々が米シークレット・サービスに、ソロスと対決すべきだと呼びかけた。

鋭い眼をもつ人々はまた、写真に撮られたアメリカのドル札に注目し、それらは暗殺された JFK 大統領の政権下で、最後に印刷された silver certificates に見えると言っている。

この感知された脅迫は、トランプが共和党大統領指名を受けるのを確実にし、民主党がパニック・モードに陥ったのと同様になされている。

選挙が近づくにつれて、多くの人々は、体制派と Deep State が、時間が切迫し、自暴自棄になってトランプ暗殺を企てたのかもしれないと考えている。

メディアの記事や民主党の声明が、眉を吊り上げ続けても、もうおしまいであるのは確実である。

先月、Matt Gaetz 議員 (共、フロリダ) がワシントン・ポストに目立つ記事を載せ、2024 年には「トランプ独裁制」が起こると警告し、これには、暗殺されたローマの指導者ジュリアス・シーザーが、トランプの頭から飛び出してくる写真が載るだろうと言った。

<https://www.infowars.com/posts/wapo-warning-of-2nd-trump-term-obviously-green-lighting-assassination-of-trump-rep-gaetz-says/>

昨年 11 月には、ダン・ゴールドマン議員 (民、ニューヨーク) もまた論争を煽り、MSNBC トランプは「排除しなければならない」と言った。

トランプに対する死の脅迫はあまりにも目に立つので、アレックス・ジョーンズや、ロジャー・ストーン、またタッカー・カールソンのような保守派の論客たちは、暗殺はこの選挙サイクル中に起こると結論づけている。

ソロスの意図は不明確だが、時間がたつにつれて、そしてグローバリストたちが世界支配を維持しようと、さらに自暴自棄になるにつれて、Deep State にとっては十分可能なオプションになるかもしれない。

著者の私の意見は、X、Facebook、Gab、Minds、Truth Social、Gettr を探索願います。

https://www.minds.com/adan_infowars

[訳者 Greatchain 注]

これがソロス(親子)からのトランプに対する死の脅迫状であることに間違いはないが、それがどの程度の実現可能性と、実現意志(意図)をもつものかはわからない。それは「病気 X」計画の場合と同じではないだろうか。ただ、暗殺の方は(トランプが身を隠さない限り)今すぐにでも可能だが、死に至る病気 X 蔓延計画は、すぐに実現させることは明らかに不可能である。彼らは自暴自棄であり、何をするかわからないとは言っても、計算はするであろう。トランプ暗殺は私的な暗殺でなく、その背後にいる支持者全体の暗殺に相当するから、将棋名人のように、すべてを「読み切った」上での大決断でなければならないだろう。

これについては SOTN による記事も出ており、彼の考えを知るためにも、その一部を翻訳しておく：――

ソロスの息子か今、公然と、トランプ暗殺を計画し正当化しようとしている

<http://stateofthenation.co/?p=206362>

SOTN 編集者ノート：共産主義者の牛耳る一党独裁党が、トランプ大統領に対して仕掛けられた極端に自暴自棄の、前例のない法廷戦争が、何年も続いた後、ついにこの地球を奪おうとしている。実際問題として、下に掲載されたトランプ暗殺の扇動は、いま進行中の第二アメリカ革命の、暴力的な「ボルシェビキの相」が始まったことを反映している。

隠すことなく反逆と裏切りを見せつける「左派」は、これまで、トランプを 2024 年の投票から締め出すあらゆる行動を試みてきたが、成功しなかった。いま我々にわかったこ

とは、「トランプ狂乱シンドローム」が本当に深刻な精神病であることで、それが意味するのは、無数の強力な影響力をもつこの病人たちは、この正当な米大統領が、完全に無力化されるまで、絶対に手を引かないことである。・・・

こうした共和党に対する制度的な反逆者たちは、ドナルド・トランプが投獄されるか、精神病施設に送られるか、回復不能の無能者として長期入院させられるか、**それとも殺されるか**を願っている。・・・

急速に迫っている、現在と選挙日の間のわずかの日数を考えれば、暗殺がかつてないほど有力な選択であろう。New World Order グローバリスト陰謀団が絶対に譲れないのは、2024年1月20日にトランプが就任演説をすることである。彼らはどんな手段を尽くしても、それだけは絶対に防ごうと試みるであろう。

トランプに対するこの脅迫について、特筆すべきことは、**この背徳的な犯罪者たちは、自分たちがそういうことをやっても、全く犯罪にならないことを知っていることである。**